

平成24年支部長挨拶

平成24年度長野県支部の活動が始まりました。

昨年思いがけず東日本大震災が起き、被災地の皆様方が御苦労されている時に私達がいつも通りテニスができる幸せを噛み締めています。今後も会員皆様が引き続き元気で楽しくテニス出来る様尽力させていただきますので、できるだけ多くの方が大会に参加して下さいようお願い致します。

また支部の活動についてはホームページに各種のお知らせを掲載しております。どうぞご利用下さい。

日本女子テニス連盟では、難民教育基金(*1)、ALT基金(*2)、乳がん撲滅運動(*3)などスポーツを通して社会貢献にも協力しております。大会や地区親睦会の折りに行う募金にご協力をお願い致します。なお昨年の東日本大震災義援金の呼びかけの際にはご協力頂き有難うございました。

今後より良い長野県支部にしていきたいと思っておりますので、ご意見・ご希望がございましたら執行部にお申し越し下さい。今後とも皆様のご協力宜しくお願い申し上げます。

日本女子テニス連盟長野県支部 支部長 今度 三紀子

平成24年3月



12年度の新しい役員です。

※1 難民教育基金とは先ごろまで国連難民高等弁務官を務めていらした緒方貞子さんは日本女子テニス連盟(女子連)の名誉会員で、その縁で女子連では毎年100万円を超える寄付を難民教育基金に送っています。難民教育基金は、より多くの難民の子どもたちに中・高等教育を受ける機会を提供し、地域の平和と発展に寄与することを目的としています。

※2 ALT基金とは全国レディースでは第15回大会から大会名の頭文字をとったアルト(ALT)基金をスタートさせ、交通事故遺児や、知的障害者の自立支援の資金援助、肢体不自由児のテニス用車いすの寄付など、チャリティー活動をしています

(ソニー生命カップ全国レディーステニス大会 <http://www.zenkokuladies.jp/alt.html>)

※3 がん撲滅運動とは女子テニス連盟は、「乳がん早期発見・啓発キャンペーン・ピンクリボン レディース テニス大会」を2003年4月より全国47都道府県で予選大会を始め、「乳がん月間」の11月に毎年全国決勝大会を開催しています。ピンクリボンバッジと自己検診ノートを500円で販売し一部経費を差し引いた金額を「ピンクリボン基金」として積み立てています。大会参加者始め、多くの方々からのご協力でピンクリボン募金活動を行っています。

(ピンクリボンレディーステニス大会 <http://www.fukuda.gr.jp/jltf-pinkribbon/index.html>)